

CVS統計年間動向(2019年1月~12月)

本統計は JFA 正会員 7 社を対象としている。

* 店舗数:55,620 店舗(12 月末現在)

《売上高》

①全店ベース

年間売上高は 11 兆 1,608 億円(前年比 +1.7%)となり、前年比プラスで推移。

②既存店ベース

年間売上高は 10 兆 3,421 億円(前年比 +0.4%)となり、前年比プラスで推移。

初めて 10 兆円を超える結果となった。

《来店客数》

①全店ベース

年間来店客数は 174 億 5,871 万人(前年比 -0.3%)となり、前年比マイナスで推移。

②既存店ベース

年間来店客数は 163 億 4,782 万人(前年比 -1.6%)となり、前年比マイナスで推移。

《客単価》

①全店ベース

年間平均客単価は 639.3 円(前年比 +2.0%)となり、前年比プラスで推移。

②既存店ベース

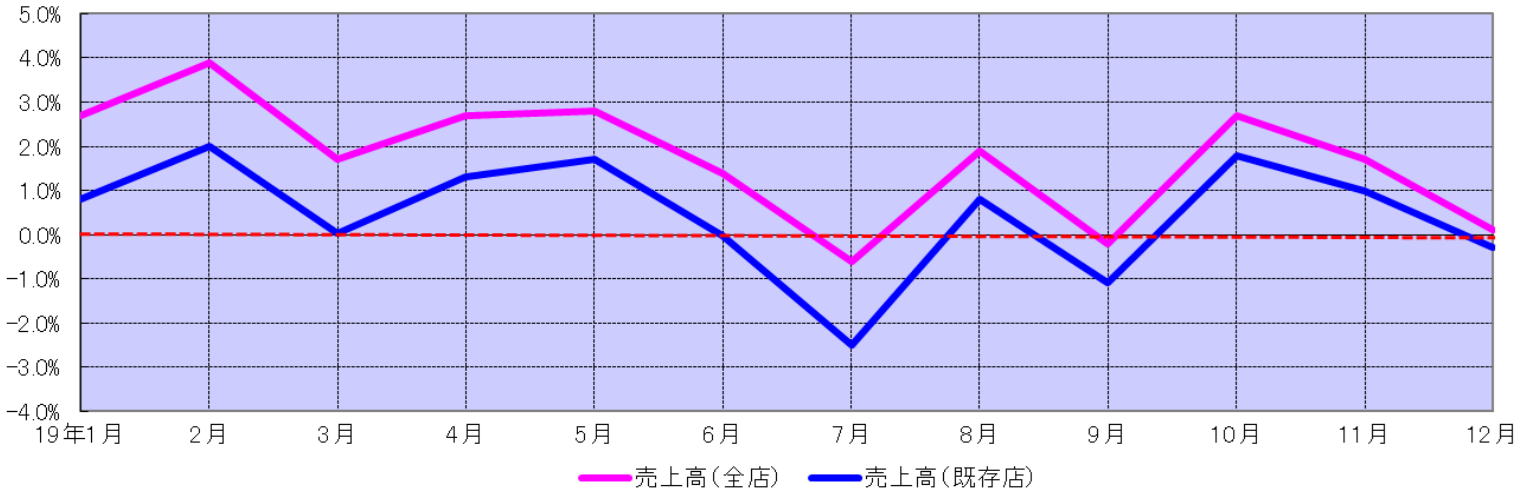
年間平均客単価は 632.6 円(前年比 +2.1%)となり、前年比プラスで推移。

2019 年は、全店・既存店ともに売上高が前年を上回る結果となった。

背景には、少子高齢化・核家族化・女性の社会進出等、ライフスタイルの変化に対応した品揃えを行い、カウンター商材、冷凍食品、調理麺、おにぎり、デザート等の中食等が好調に推移したことに加え、たばこの売上増加や、10 月から開始されたキャッシュレス還元の効果等により、客単価が上昇したこと等が考えられる。

一方、月別に見ると、7 月は前年より梅雨明けが遅かったことや台風等による天候不順、9 月は 2018 年 10 月のたばこ増税前の駆け込み需要の反動等から売上高に影響を及ぼした。

売上高伸び率推移



客数 & 客単価伸び率推移

